**第２回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年５月１６日（月）　１８時３０分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　中原　義勝

　　　　　　　 副部会長　渡部　雅子

　　　　　　　 部会員　　山田　正幸

　　　　　　　　　　　　 稲葉　一彦

　　　　　　　　　　　　 川島　雅司

　　　　　　　　　　　　 松田　毅　（協働推進庁内委員会部会長）

【保健福祉部次長】

　　　　　　　　　　　　 笠井　康之（協働推進庁内委員会副部会長）

　　　　　　　　　　　　　　　　　 【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　田中　寛志

　　　　　　　　　　　　 松本　崇之

　　　　　　　　　　　　 成田　育磨

◆ 事　務　局：　　　　　松田　　毅（庁内委員会兼）【市民生活部次長】

笠井　康之（庁内委員会兼）

【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 北村　泰一【市民生活部市民協働グループ主査】

◆ 議　題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

４月２５日に全体会議をし、市民自治推進委員会の方向性が決まりました。

各部会がバラバラな動きをするのではなく、一つの柱を見つけて進めていくという考え方が示され、各部会で共通して議論できるものとして『健康』を柱にするということで委員の皆さんの同意を得ました。

健康といいましても、体の健康だけではなく、心の健康、精神的な意味での健康も含まれており、市民の身体的及び心が健康でなければまちづくりを進めていけないというような考え方に基づいているものであります。現在の少子化や高齢化、経済の問題もこの健康が基本になるのではないかという考えです。

今日の部会については、健康について皆さんに自由に語っていただき、その中で部会として取り組んでいけるような方向性を見出していければと思っております。

また、お手元に配付した資料ですが、登別市総合計画第３期基本計画の第６章にある事業名だけを羅列して記載していますが、事業名だけではイメージが沸かないと思いますので、この中で内容を確認したい事業がございましたら、報告用紙の方で提出いただければ、次回の部会で担当グループから説明したいと思います。

「健康」をテーマにすると、まちづくり部会としては難しい部分があると思いますが、どのように絞っていくかが一つのポイントなのかなと思っています。

今後部会をあと２・３回開催し、そのあとに部会長副部会長会議を開催し、それぞれの部会で健康をテーマにどの程度進んでいるのかを情報共有しまた進めていければ良いなと思っております。

**≪部会長≫**

まちづくり部会としては、無理矢理こじつけて考えれば、考えられないこともないと思いますので。

**≪部会員≫**

自分の仕事自体が健康そのものの事業ですが、話を聞いたときに、医療費を削減することで無駄ではないけれども、そうなると、市民の意識を変えないと嘘の状況に乗っかっていってしまいます。

ここを正さなくてはいけないので、先ずは正しい情報の発信をできるかどうかが一つだと思います。

例えば、膝が痛いと言ったら病院に行きますよね。

そうなると医療費削減にはならないです。

先ずはこの意識をみんなが変えなければなりません。

日本は健康２１と方策を出してずっとやってきていますが、国家資格に関わらず行政と市民団体が円滑に協力し合いながら健康について精神的なものも含めてやっていこうと随分昔から国自体が取り組んでいることですよね。

昔から取り組んでいるにも関わらず医療費が削減できない理由ですよ。

このようなことに手を加えることが大変なことだと思います。

**≪庁内委員兼事務局≫**

インターネットからの情報ですが、健康日本２１を中心とした健康づくりの推進ということで、歩くということで、歩いて最終的に何歩増えれば効果としていくらという部分が出ています。

まちづくりで歩くという部分を登別市も今までやっていないので、協働で何か取り組める事業を構築できないかなと思いました。

**≪事務局≫**

健康ウォークというのは昔健康推進グループでやっていて、所管が変わって今もやっているかどうかはわかりませんが。

**≪部会員≫**

「歩く」ということを行政側で推進するのは、手軽だからです。ただ、非効率的でもあります。

例えば、１時間歩かなくてはいけない、５，０００歩、７，０００歩歩かなくてはいけないなど、とても大変です。

健康ではない人は歩けません。膝が痛い人は歩けません。

結局は何故そのようなことをやるのかというと、市民の人達が先ほど言ったように、膝が痛いと言ったら病院へ行くと言いました。

病院に行く前にやることがあるのです。

そういうことを知らないから「困った＝直ぐ病院へ行こう」ということになってしまいます。

そこの部分を解決しないのに、健康というのは難しいと思います。

タバコは吸っているけど歩いていれば良いのかということになってしまいます。

例えば、朝納豆を食べるのが良いと聞くと、毎朝納豆だけ食べていれば良いのかということになってしまいます。

これだけ健康の情報が錯交している世の中で健康についての事業を何かやろうというのはとても難しいと思います。

**≪部会員≫**

今自分が矛盾しているなと感じていることは、現在の医療は延命措置をしますよね。

すごくお金がかかることです。

本人は負担が１割でも残りの９割は医療費なので、医療費が嵩む原因はここにあると思います。

医療費がかかる前に何かできることがあるのではないかと思います。

**≪部会員≫**

頭から「健康」を考えるから難しいので、この部会は第６障「担い合うまちづくり」なので支え合いや助け合いです。

そのようなまちに持っていくためには何をすれば良いのかということになります。

先ほど話に合った人口を増やそうとした場合、健康でなくてはだめだねというような持っていき方をしないと頭から「健康」を考えたら何も進まないですね。

**≪部会員≫**

本州の方では、まちでヨーグルトを食べるように推奨して統計をとったら風邪を引かなくなったというように、このようなことくらいしかないと思います。

**≪事務局≫**

タニタ食堂と市が連携して行っている事業もありますね。

**≪部会員≫**

まちづくりとしてやるなら「健康」というテーマは大きすぎますね。

**≪事務局≫**

まちづくりの中で、狭い分野で、どこかポイントを見つけて広げていくようにしないと難しいのではないのかと思います。

**≪部会員≫**

今自分がやろうとしていることは、「体づくり広場」で市民の方々が聞きたいことを聞ける環境を育てるということです。健康に関すること全てが対象です。

例えば薬だとすると、１つの主作用に対して２０の副作用があります。でも普通は１つしか書かれていない。

市民が集える居場所作りというのを登別市内ではないですがやりたいと考えています。

このような場所があり、膝が痛くなったけど病院に行く前に「からだづくり広場」に行ってみようという環境があちこちにあったら、それが理想だと思っています。

**≪部会員≫**

医者にかからなくても自分の健康管理ができる方法はいくらでもあるということですね。

これからの日本人は自らの健康管理を行うようにどのように仕向けていくかということですかね。

**≪事務局≫**

小さなことからいけば、情報発信という部分では事業は成り立つと思います。

それを連合町内会や地域で普及させていくと良いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

最終的なゴールは市民の主体性ですね。

与えるだけではだめですが、取っ掛かりは必要ですね。

**≪部会員≫**

広報等で色々周知されているにも関わらず健康診断や予防の受診をする人は少ないですね。

健康に老いるために自らが健診等を受けて予防しようという人がもっと増えれば、受診率はもっと上がると思います。

**≪部会員≫**

今健康だとしてもなぜ受けるかというと、自分のためというよりは家族のためなのかなと思います。

自分にしても最悪の状況を考えたら、今やらなくてはならない事は何なのかなと思います。

最初のきっかけというのは健康に対しても自発的に思うようにしていかないとなかなか変わらないのかなと思います。

**≪部会員≫**

心の健康ももう少し話題になってほしいなと思います。

今、私共の企業でも、心の健康相談のような事をやっていますが潜在的な部分や悩みを持った方が本当に多いです。

**≪部会員≫**

精神的なものは、天候がすごく関わりを持っています。地球上にある植物と動物は全て天気に左右されています。

**≪庁内委員兼事務局≫**

季節によって毎年調子が悪くなるということがありますよね。

**≪部会員≫**

それには理由があり、その理由を分かったうえで、この時期はやってはいけない事など基本的にありますが、それを知らずに同じ生活を当たり前のように繰り返すから同じ季節に調子が悪くなってしまいます。

雪溶けがあって、春になると心がウキウキしてきますが、体はその調整には全くついていっていないです。そこで五月病とかいいますね。

**≪部会員≫**

心と体のバランスが崩れてしまっても、自ら病院へ行こうという人は基本的にいないですよね。

自分が何を知りたいかと言ったら、対処の仕方などの情報を知りたいわけです。

周りの人が市民に伝えていこうということで、助け合いに繋がるのかなと思います。

**≪庁内委員兼事務局≫**

今話をしている中では、基本的にはやはり難しいかもしれませんが、その意識の醸成という部分での情報発信ですね。

情報発信というのは担い合うまちづくりの事業ですよね。

市でいう広報なども入っていて、そういう部分で情報発信の健康に関わる部分で考えてみた方が良いかなと思います。

ただ、それも健康というテーマはすごく広いので、少し絞っての情報発信をやってみるということでも良いのかなと思います。

**≪事務局≫**

情報を発信してそれによって意識が変わっていくということもありますよね。

**≪部会長≫**

委員の中で、健康に関わるような講演を行える方がいるので、「健康」という部分を広く市民へ周知させるため、その方の講演会を開催することはできないか。

きっかけがあれば、全体の会議等の中で話をしていきたいですね。

**≪次回の日程≫**

平成２８年６月２０日（月）１８時３０分から